

製品名: TAF1C ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02662**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 95 kDa; Observed MW: 95 kDa

抗原情報

遺伝子名	TAF1C
別名	SL1; TAFI95; TAFI110; MGC:39976
遺伝子 ID	9013
SwissProt ID	Q15572
免疫原	ヒト TAF1C の合成ペプチド

背景

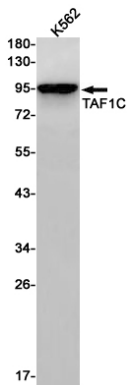
転写因子 SL1/TIF-IB 複合体の構成要素であり、RNA ポリメラーゼ I 依存性転写における PIC（転写開始前複合体）の形成に関与す

る。PIC形成速度は、SL1/TIF-IBとrDNAプロモーターの会合速度に主に依存すると考えられる。SL1/TIF-IBは、rDNA上の核小体転写因子1/UBTFの安定化に関与する。SL1/TIF-IBの形成は、TBPとTFIIDサブユニットの会合を排除する。RRN3との相互作用を介して、RNAポリメラーゼIをrRNA遺伝子プロモーターにリクルートする。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



TAF1C抗体を使用したK562溶解物中のTAF1Cのウエスタンブロット分析。